

2026年3月17日

各位

会社名 株式会社 TORICO  
代表者名 代表取締役社長 安藤 拓郎  
(コード番号：7138 東証グロース市場)

**国内を代表するトレジャリー企業4社が集結  
「企業は暗号資産を持つべきか？」をテーマに公開対談を実施**

株式会社TORICO（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：安藤拓郎、以下「当社」）は、暗号資産および企業トレジャリー戦略をテーマとした対談イベントが、2026年3月19日（木）19時よりX（旧Twitter）スペースにて開催されることをお知らせいたします。

本対談では、国内を代表するトレジャリー戦略を推進する企業4社が集い、企業と暗号資産の関係について、実務視点から議論を行います。



#### ■開催背景

近年、ビットコインやイーサリアムをはじめとする暗号資産は、企業財務における新たな選択肢として注目を集めています。海外企業ではトレジャリー戦略の一環として暗号資産を保有する動きが進む一方、日本国内においては、その位置づけや活用方法について議論が始まったばかりの状況です。

こうした背景を踏まえ、本対談では、実際に企業経営の最前線で意思決定を行う経営者同士が、暗号資産の位置づけや活用の可能性について率直に意見交換を行います。

#### ■イベント概要

- テーマ：「企業は暗号資産を持つべきか？」
- 配信日時：2026年3月19日（木）19:00 開始予定
- 配信形式：X（旧Twitter）スペース（音声ライブ配信）
- X（旧Twitter）スペース URL：<https://x.com/MotokiyoAzuma/status/2032043955744051582?s=20>

## NEWS RELEASE

### ■登壇者（五十音順）

- 東 大陽 氏（株式会社コンヴァノ）
- 川合 林太郎 氏（株式会社 ANAP ホールディングス）
- 國光 宏尚 氏（株式会社 TORICO）
- 能勢 元 氏（株式会社エス・サイエンス）

### ■主な議論テーマ

本対談では、以下のテーマを中心に議論を行います。

- 暗号資産市場の現状
- 企業におけるデジタル資産の位置づけ
- 企業トレジャリー戦略の可能性
- 経営者としての投資判断・意思決定

### ■注意事項

本対談は暗号資産に関する情報共有および意見交換を目的としており、特定の投資を推奨するものではありません。

また、登壇者の発言は個人の見解であり、所属企業の公式見解を示すものではありません。

### ■当リリースに関する問い合わせ先

株式会社 TORICO 管理部 IR 担当

メールアドレス：[ir@torico-tokyo.com](mailto:ir@torico-tokyo.com)

I R ペ ー ジ：<https://www.torico-corp.com/ir/>

以 上